別紙

群馬県有林高付加価値クレジット創出業務に係る企画提案審査基準

以下の審査基準に基づき、審査委員会の委員が評価した採点を合計したものを評価点（２００点満点）とする。

各委員の評価点を合計して最高点を得たものから順位をつけるものとする。順位決定を行う際に、同位の評価点が複数ある場合は、審査委員会で協議の上、優先交渉事業者を選定する。

なお、次のいずれかに該当した場合は失格とし、選定から除外する。

・企画提案書の提出書類に不備がある者
・企画提案書の提出期限を過ぎて提出した者
・固定委託費と成果報酬に同一の業務又は経費を重複して計上した者
・固定委託費が県の上限額を超える者
・成果報酬率が上限率を超過した者
・累計販売代金が固定委託費総支払額及び県最低販売収入額の合計額未満の者
・審査基準の各項目のうち審査員の平均点が基準点を下回る項目が１つ以上ある者
・指定公金事務取扱者の指定要件を満たさない者

審査基準

	審査項目	内容	配点		基準点
1	事業実施体制	提案内容を実施できる人員が確保されているか	10	30	10
		提案内容を実施できる能力を有する人員が配置されているか	10		
		プロジェクト登録からクレジット認証・発行までの工程が適切か	10		
2	クレジット創出	積算された創出経費が提案内容を確実に実施できるものであり、妥当な価格か	15	55	20
		県有林の面積を最大限活用した J-クレジットの創出量となっているか	10		
		提案内容が本業務の対象以外の県有林及び私有林へ横展開可能であるか	10		
		非炭素プレミアム価値の算定方法、根拠等が明確に示されているか	10		
		提案された創出経費は妥当か	10		
3	販売	クレジットの販売戦略が具体的かつ実現可能か	20	80	30

		クレジットの販売先候補及び販売ルートは妥当か	20		
		発行されたクレジットの販売が早期に実施できる工程か	15		
		クレジットの販売が不成立となった場合の対応策が示されているか	25		
4	県への収益還元	成果報酬率は妥当であるか	10	25	10
		県の想定実質収益が、実現可能な範囲で最大となるよう計画されているか	15		
5	その他	過去に同種又は類似業務の実績を有しているか	5	10	0
		J-クレジット創出・販売以外の提案があるか	5		
		計	200	200	―